



やすらぎ通信

Vol.25 2021.6



がん患者さん等やそのご家族のための「患者サロン」として院内に開設された『やすらぎサロン』も、今年で12年目を迎えました。「語らいの場」、「情報収集の場」、「くつろぎの場」として皆様にご利用頂いております。今後もたくさんの方にご利用頂けるよう、やすらぎサロンの活動を定期的にご紹介していきます。

やすらぎレシピ集のご案内



スマートフォンなどから、こちらのQRコードを読み取ると、やすらぎレシピ集がご覧いただけます。



この度、やすらぎ勉強会、出張がん講座、やすらぎ通信などでご紹介したレシピを症状別に再編集し、パンフレットを作成いたしました。

パンフレットは、やすらぎサロンや相談支援センター前でご覧いただけます。または、当院ホームページ (<https://www.nnh.go.jp/>) や、右記 QR コードから読み取することもできます。患者さんやご家族の方に、少しでもお役に立てれば幸いです。

やすらぎレシピ ~これからの時期にぴったりのメニューを管理栄養士より紹介~

さっぱり冷やし坦々うどん



<材料(1人分)>

- 冷凍うどん…1玉
- ゴマダレ…大さじ2~3
- ラー油…お好みで
- 大葉…1枚
- みょうが…1本
- すりごま…お好みで

<作り方>

- ① 冷凍うどんは電子レンジで既定の時間加熱し、ザルに移して冷水中で冷やす。
- ② みょうが、大葉は千切りにする。
- ③ 器にゴマダレ、ラー油を入れ混ぜる。
- ④ うどんを入れ混ぜ、②を盛り付ける。

【ポイント】

6月から旬を迎える大葉とみょうがを使ったさっぱりうどんです。暑くなってきた時期にピッタリな時短レシピです。



トマトの和風カプレーゼ



<材料(1人分)>

- 木綿豆腐…70g
- 塩…小さじ1/2
- トマト…1/2個
- 乾燥バジル…適量
- 粗びき黒こしょう…適量
- オリーブ油…適量

<作り方>

- ① 豆腐を厚手のペーパータオルにのせて表面に塩小さじ1/2をふり、指先で均一に広げる。
- ② 豆腐の上下を返し、同様に塩小さじ1/2をふって広げる。
- ③ キッチンペーパーで豆腐を包み、重石を乗せて、冷蔵庫で30分以上おく。(600Wのレンジで2分ほど加熱し、重石を乗せながら粗熱を取る方法でも可)
- ④ 水切りした豆腐は1cmの厚さに切る。トマトも1cm厚さに切る。
- ⑤ ④を交互に並べ、乾燥バジル、こしょう、オリーブ油を適量ふりかける。

【ポイント】

チーズの代わりに豆腐を使うことで塩分カット。バジルや黒こしょうの香りで食欲upにも期待できます。



令和3年6月1日より受付開始

『愛知県がん患者妊よう性温存治療費助成事業』のご案内



がん治療等の中には、妊よう性が低下もしくは失われる可能性のある治療があります。

愛知県では、がん治療等を行う方が将来子どもを持つ望みが持てるように、精子、卵子、卵巣採取・凍結または胚（受精卵）の凍結を行うための治療費を一部助成する事業が、令和3年6月1日から始まりました。

◆対象者

- ① がん等の治療により妊よう性が低下する恐れがあり、がん等の担当医師と、妊よう性温存治療の担当医師により、妊よう性温存療法に伴う影響について、評価を行い、生命予後に与える影響が許容されると認められる方（ただし子宮摘出が必要な場合など、本人が妊娠できないことが想定される場合は除く。）
- ② 申請時点において、**愛知県内に住所を有している方**
- ③ **2021年4月1日以降に妊よう性温存治療を実施した方**
- ④ 精子や卵子等の凍結保存時に **43歳未満の方**
- ⑤ 治療期間を同じくして、特定不妊治療費助成制度事業、一般不妊治療費助成制度事業、その他の制度による助成金等の交付を受けていない方
- ⑥ **愛知県が指定した妊よう性温存療法実施医療機関**で妊よう性温存治療を受けた方
- ⑦ **胚（受精卵）を凍結保存する場合は、婚姻（事実婚を含む）**されている方
- ⑧ 「小児・AYA世代のがん患者等の妊孕性温存療法研究促進事業」の参加に同意される方

※上記すべてに該当する方が対象となります。



◆申請手続き

- ① **がん等治療医療機関を受診**
※希望者は妊よう性温存治療医療機関の情報提供を受ける。
- ② **妊よう性温存治療医療機関を受診・治療実施**
- ③ **がん等治療医療機関で治療実施**
- ④ 妊よう性温存治療に係る費用を支払った日の属する年度の末日までに**助成金の申請**

※必要書類を「愛知県保健医療局健康医務部健康対策課がん対策グループ」に郵送（簡易書留）または持参

1. 治療費助成事業申請書
2. 治療費助成金請求書
3. 治療実施証明書（妊よう性温存治療実施医療機関）
4. 治療実施証明書（がん治療実施医療機関）
5. 住民票の写し（原本 発行から3か月以内）
6. 妊よう性温存治療費の領収書（原本及びコピー）
7. 胚（受精卵）凍結の場合は、夫婦（事実婚を含む）であることを証明する書類 等

◆対象疾患

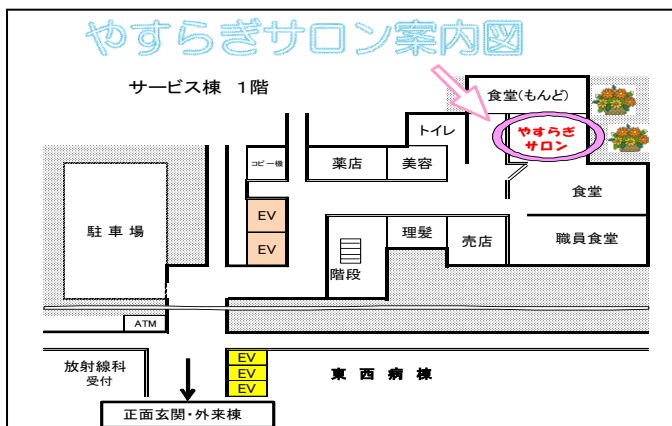
- ・がん
- ・造血幹細胞移植が実施される非がん疾患（再生不良性貧血等）
- ・アルキル化剤が投与される非がん疾患（全身性エリテマトーデス等）

◆対象となる治療と助成額

治療内容	助成上限
胚（受精卵）の凍結	35万円
未受精卵子凍結	20万円
卵巣組織凍結及び再移植 （★組織採取時1回、再移植時1回）	40万円
精子凍結	2万5千円
精子凍結（精巣内精子採取）	35万円

★助成回数は2回

助成対象となる費用は、妊よう性温存治療及び初回の凍結保存に要した医療保険適用外費用。ただし、入院室料、食事療養費、文書料等の治療に直接関係ない費用及び初回凍結保存費用を除く凍結保存の維持に係る費用は対象



独立行政法人 国立病院機構

名古屋医療センター やすらぎサロン

電話 052-951-1111（内線 2188）

<開室時間> 月～金 10:00～15:00

（土日祝休み）

<場所> サービス棟1階 食堂横



発行元：名古屋医療センター 相談支援センター